

## 平成30年度決算の概要

### 資金収支計算書の概要（H30.4.1～H31.3.31）

（単位：円）

	科 目	予算	決算	差異	
収入の部	①学生生徒等納付金収入	469,285,000	493,795,000	△ 24,510,000	
	②手数料収入	10,020,000	11,595,600	△ 1,575,600	
	③寄付金収入	0	103,000	△ 103,000	
	④補助金収入	600,270,000	600,813,359	△ 543,359	
	⑤資産売却収入	0	0	0	
	⑥受取利息・配当金収入	30,000	56,518	△ 26,518	
	⑦雑収入	14,680,000	22,738,773	△ 8,058,773	
	⑧借入金等収入	0	0	0	
	⑨前受金収入	108,700,000	200,900,000	△ 92,200,000	
	⑩その他の収入	10,430,000	115,530,739	△ 105,100,739	
	⑪資金収入調整勘定	△ 110,000,000	△ 120,194,800	10,194,800	
	前年度繰越支払資金	540,000,000	576,798,214	△ 36,798,214	
		収入の部合計	1,643,415,000	1,902,136,403	△ 258,721,403
支出の部	①人件費支出	294,700,000	304,835,475	△ 10,135,475	
	②教育研究経費支出	116,650,000	114,607,901	2,042,099	
	③管理経費支出	77,920,000	81,661,327	△ 3,741,327	
	④借入金等利息支出	1,348,000	1,347,279	721	
	⑤借入金等返済支出	13,660,000	13,660,000	0	
	⑥施設関係支出	731,500,000	750,340,800	△ 18,840,800	
	⑦設備関係支出	183,400,000	179,574,624	3,825,376	
	⑧資産運用支出	0	0	0	
	⑨その他の支出	26,160,000	126,374,628	△ 100,214,628	
	⑩予備費	3,000,000		3,000,000	
	⑪資金支出調整勘定	△ 5,000,000	△ 14,211,200	9,211,200	
	⑫翌年度繰越支払資金	200,077,000	343,945,569	△ 143,868,569	
	支出の部合計	1,643,415,000	1,902,136,403	△ 258,721,403	

収入の部の主な科目の内容については次のとおり

科目	内容の説明
①学生生徒等納付金収入	学生定員320名に対して、前期342名、後期338名の在籍であったため、収入増となった。
②手数料収入	入学検定料、試験料等の収入。
③寄付金収入	個人からの寄付収入。
④補助金収入	長野市から交付された「看護学部設置事業補助金」600,000千円と長野県から交付された「地域発元気づくり支援金」が主な収入。
⑥受取利息・配当金収入	普通預金及び定期預金の利息。
⑦雑収入	退職金財団交付金収入及び外部への施設貸出による利用料が主な収入。

⑨前受金収入	平成30年度内に納入された令和元年度入学生の学納金。予算においては看護学部の前受金を計上しなかったため差異が発生している。
⑩その他の収入	所得税などの預り金及び前年度退職者の退職資金収入。
⑪資金収入調整勘定	平成29年度内に納入された前受金は平成30年度においては学生生徒等納付金収入に振替られることから、前期の学納金を収入から差し引く科目。

支出の部の主な科目の内容については次のとおり

科目	内容の説明
①人件費支出	年度末に退職者があったため差異が発生している。
②教育研究経費支出	教育・研究活動に要する経費。学生への奨学金、学外実習にかかる経費、校舎用地の賃借料などを含む。
③管理経費支出	事務的な管理に要する経費。看護学部開設に伴う広報費と、校舎が二棟になることに伴うネットワーク構築により経費が増加した。
④借入金等利息支出	日本私立学校振興・共済事業団及び市中銀行からの借入金利息。
⑤借入金等返済支出	日本私立学校振興・共済事業団及び市中銀行からの借入金であり期末残高は76,960千円。
⑥施設関係支出	新校舎建設及び既存校舎増築に要する支出。
⑦設備関係支出	看護学部設置に係る備品、図書、ソフトウェアなどの資産の取得に要する支出。
⑨その他の支出	備品のリース料、所得税などの預り金及び新校舎の4月分賃借料。
⑪資金支出調整勘定	退職金やリース物件の未払額を差し引く科目。
⑫翌年度繰越支払資金	看護学部設置に伴い前年度繰越支払資金より232,852,645円減少している。また、予算において看護学部の前受金を計上しなかったため差異が発生している。

貸借対照表の概要 (H31.3.31)

(単位:円)

	科 目	本年度末	前年度末	増減	
資産の部	固定資産	2,101,534,384	1,210,807,412	890,726,972	
	①有形固定資産	1,890,773,334	1,004,450,052	886,323,282	
	②その他の固定資産	210,761,050	206,357,360	4,403,690	
	流動資産	348,908,769	588,437,814	△ 239,529,045	
	③現金預金	343,945,569	576,798,214	△ 232,852,645	
	④未収入金	934,800	10,494,800	△ 9,560,000	
	⑤前払金	4,028,400	1,144,800	2,883,600	
		資産の部合計	2,450,443,153	1,799,245,226	651,197,927
負債の部	⑥固定負債	145,193,156	154,528,360	△ 9,335,204	
	⑦流動負債	254,639,599	163,657,554	90,982,045	
		負債の部合計	399,832,755	318,185,914	81,646,841
純資産の部	⑧基本金	2,005,103,816	1,064,998,158	940,105,658	
	⑨繰越収支差額	45,506,582	416,061,154	△ 370,554,572	
		純資産の部合計	2,050,610,398	1,481,059,312	569,551,086
		負債及び純資産の部合計	2,450,443,153	1,799,245,226	651,197,927

資産の部の内容については次のとおり

科目	内容の説明
①有形固定資産	土地、建物、備品、図書などで、看護学部設置に伴い増加した。
②その他の固定資産	看護学部設置に係るソフトウェアの導入及び長野市との土地賃貸契約に伴う保証金により増加した。
③現金預金	期末の現金預金。
④未収入金	退職金財団からの退職資金等。
⑤前払金	新校舎の4月分賃借料等。
⑥固定負債	長期借入金、長期リース債務等。
⑦流動負債	前受金、短期リース債務、退職金等。
⑧基本金	大学が有する固定資産取得額に該当する第1号基本金及び恒常的に保持すべき資金である第4号基本金を設定している。
⑨繰越収支差額	事業活動収支計算書における繰越収支差額。